

情報技術を利用した教材共有の現状と活用

オーガナイザ： 本田 敏明（茨城大学・JSiSE 情報教育委員会委員長）

情報教育の進展に伴い、教材共有の必要性が高まって実際に活用が広がっている。すでに広く活用されている教材共有の形態として、高校と大学との間、大学、企業と大学の、企業などがある。しかしながら、その仕組みや活用の実態は教育関係者の間で必ずしも広く周知されている訳ではない。

そこで、本プレカンファレンスでは、このうち、

- (1) 高校大学間の教材共有
- (2) 大学 e ラーニングにおける教材共有
- (3) 専門技術に関わる教材共有など

から適当なテーマを選んで、関係者をお招きして教材共有の仕組、活用の形態や最新の動向等をお話していただく。

その後、プレカンファレンス参加者と議論して、情報教育における更なる活用の方法や今後の課題について議論する。

■ 開催日時：9月2日（月）9:00～11:50

■ 内容

○企画

夜久竹夫（日本大学・JSiSE 情報教育委員会副委員長）

○司会進行

西野和典（九州工業大学・JSiSE 情報教育委員会副委員長）

○高校・大学間の教材共有

坂田圭司（東海大学情報教育センター）

○大学 e ラーニングにおける教材共有

岡本敏雄（電気通信大学 e ラーニングセンター）

○高等教育機関における実践的 I T 教育講座で活用できる汎用的教育コンテンツの提供

大島信幸氏（情報処理推進機構・イノベーション人材センター センター長）